

デイリーヤマザキが協力 地域とのつながり求め

湯沢南中 あんパン商品化

湯沢市の湯沢南中学校(高橋清隆校長、288人)と、学校近くにあるデイリーヤマザキ湯沢関口店がタッグを組み、「南中」の焼き印が押された「南中あんパン」(213円)を作り、同店で事前予約制で販売している。このほか、11日に開かれる学校祭や、種苗交換会(31日～11月4日)でも販売する予定。



南中あんぱんは、学校と地域の連携を強めようと同校が企画し、同店に提案。快諾を得てコラボあんパン作りが決った。

7月下旬にあんパンの表面中央に押す「南中」の焼き印が完成し、8月から同店で販売している。

あんパンの中には粒あんとホイップクリームが入っており、食べると程よい甘さが口の中に広がる。

商品について、同校3年の相澤虎弥さんは「生地がふわふわしていてあまくておいしい。想像以上に食べ応えがある」、高橋愛瑠さんは「商品を通じて南中と地域のつながりが深まったと思う。たくさんの人に食べてほしい」と話す。

店頭販売についての問い合わせは同店 ☎0183・72・6681

(舘岡朋美)

(令和7年10月4日(土)秋田魁新聞より一部抜粋)